

()R()番 名前 ()

実験・調査の方法と対象を考えるポイント

ケーススタディ①
仮説「音読は英単語の記憶に効果がある」 →ある英単語テストの範囲について、音読を3日間、毎日3周ずつ行った群と行わなかった群で、英単語テストの得点を比較する
調査手順と結果 音読あり群には友人A、B、C、音読なし群には友人D、E、Fに協力してもらった。音読あり群では5月に行われた第3回目の小テストの平均点が8.2点、音読なし群では7月に行われた第5回の小テストの平均点が7.8点であった。平均点に差があることから、音読は英単語の記憶に効果があると言える。
この実験・調査の問題点は？

ケーススタディ②
仮説「肥料Bは従来の肥料Aよりも成長促進効果がある」
調査手順と結果 ある植物（7月に60cmほどの高さになる）の苗3本を肥料Bを使って育てたところ、7月には70cmほどの高さに育った。この結果から、肥料Bには肥料Aよりも成長促進効果があると言える。
この実験の妥当性を高めよう！

ケーススタディ③

仮説「読みにくいフォントで書かれた文章の方が記憶に残りやすい」

調査手順と結果

5人に協力を依頼し、読みにくいフォントで書かれた文章Ⅰを読んでもらった後に、覚えている単語数を測定する。同様に、読みやすいフォントで書かれた文章Ⅱを読んでもらった後に、覚えている単語数を測定する。

この実験の妥当性を高めよう！